

平成 18 年 9 月 12 日

各 位



会社名 株式会社 A C C E S S  
代表者名 代表取締役社長 荒川 亨  
(コード番号 4 8 1 3 東証マザーズ)  
問合せ先 常務執行役員  
経営企画本部長 榎崎 浩一  
(TEL. 03 - 5259 - 3511)

## 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 3 月 23 日の決算発表時に公表し、平成 18 年 4 月 20 日に一部訂正いたしました平成 19 年 1 月期中間期(平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 1 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,895	6,974	7,264
今回修正予想(B)	10,158	8,503	8,385
増減額(B-A)	1,263	1,529	1,121
増減率(%)	14.2	21.9	15.4
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 7 月中間期)	6,040	1,042	627

#### 2. 平成 19 年 1 月期中間業績予想数値の修正(平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,530	990	594
今回修正予想(B)	6,307	659	363
増減額(B-A)	777	330	230
増減率(%)	14.1	33.4	38.8
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 7 月中間期)	4,905	1,074	615

#### 3. 修正の理由

当初予想と比較して、単体及び連結の売上高については、当社製ソフトウェアの受託開発売上及びロイヤリティー収入が好調に推移したことにより、上記修正予想の通り増収となる見込みです。

また、単体の経常損益および当期純損益については、1)新しいプラットフォーム・ソフトウェアである ACCESS Linux Platform の開発をはじめとする今後有望な新規研究開発投資をより積極的に行ったこと、2)業容拡大に伴い、新規採用が順調に推移したため、募集費・人件費も増加したことにより、当中間期業績において上記修正予想通り減益となる見込みです。

連結の経常損益および当期純損益については、既に買収した海外子会社 2 社の無形資産につき、米国の最新会計基準に基づき償却を開始したことにより、上記修正予想通り減益となる見込みです。

なお、通期業績予想(個別及び連結)については従来予想通りとします。

以 上